

PEDウィルスがアメリカに侵入

アメリカに今まで発生がなかった PED の浸潤が確認され、現在騒然となっています。初発は 4 月 29 日で、当初ラボに持ち込まれた検体は TGE を予想していたらしいのですが、最終的に PED であることがわかりました。その後の調査で初発の菌は 2012 年に中国で発生した分離株と遺伝子レベルが 99% 相同であることも判明しました。おそらく何らかの方法で持ち込まれたと考えるのが自然です。しかし現在までにどういわけか 11 の州、計 113 農場で発生が認められています。そもそもこれほど速やかに伝播する病気ではないので、バイオセキュリティに抜け道があったのでしょうか。最も多い州はアイオワ(62 農場)で次いでミネソタ(15)、インディアナ(7)、コロラド(7)、オハイオ、ミズーリ、イリノイ、ミシガン、ネブラスカ、オクラホマ、サウスダコタなど中西部を中心に広がっていました。これまで発生がない疾病だけに、詳細な調査推進のための特別予算が生まれワクチン開発がすでに進められています。予定では約 2 カ月後に出来上がるというスピードです。人に影響がある公衆衛生上の問題ではないので、法定届け出伝染病としての括りにはされないことは幸いですが、わずか 26 の繁殖農場、つまり多くは肥育農場ということでトラック、豚の移動などあらゆる可能性が取りざたされているのが現在の状況です。

疾病は中国をはじめ、ご承知のように日本、韓国などアジア諸国とヨーロッパに浸潤している病気ですので、どのようにしてアメリカに持ち込まれたかが焦点です。あまり強くない下痢疾病だけに呼吸器病のように空気感染しないかわりに容易に常在してしまう可能性があります。一旦農場に入ると撲滅させるのは大変ですが、早くも撲滅法も飛び交っています。アメリカでは情報が錯綜しており過去に経験がないだけに、今まで以上にバイオセキュリティの締め付けが強くなるのは避けられないでしょう。

2013 年 6 月 グローバルピッグファーム(株)